

報道関係者各位

2007年7月27日  
株式会社ジャパン通信社  
株式会社ワイズワークスプロジェクト  
ニホンモニター株式会社

## 広告効果 105 億円!日本人メジャーリーガー大躍進!!

～第78回MLBオールスター編～

新聞・雑誌合計 2,000 媒体の調査/分析を行っている株式会社ジャパン通信社（東京都中央区、代表取締役社長：鈴木和夫）、インターネット情報の調査/分析を行う株式会社ワイズワークスプロジェクト（東京都台東区、代表取締役社長：鍋島日之樹）、TV 放送の総合調査/分析を行うニホンモニター株式会社（東京都港区、代表取締役社長：葦沢美樹）の 3 社は共同で、過去 2 回の斉藤祐樹投手（早稲田大学）の広告効果測定に続く第 3 弾として『**第 78 回 MLB オールスター**』のメディア露出広告効果測定を行った。

### ○ **米オールスター広告効果は 105 億円以上!!**

調査期間 11 日間での広告費用換算金額は **105 億 633 万 7470 円**と、前回調査した斉藤祐樹投手『日米大学野球選手権』の広告費用換算金額 **102 億 5833 万 5846 円**を上回った。

内訳は、新聞・雑誌で 26 億 6171 万 634 円、WEB 4 億 1304 万 7800 円、TV 74 億 3157 万 9036 億円となっている。（表 1 参照）

斉藤隆投手（ドジャース）初選出（7 月 1 日）、岡島秀樹投手（レッドソックス）最終投票による選出（7 月 5 日）、イチロー選手（マリナーズ）史上初のランニングホームラン（7 月 10 日）など日本人選手の豊富な話題が 100 億円を超える金額をはじき出した。

表 1

	調査期間	新聞・雑誌	TV	WEB
斉藤祐樹①	7 日	1,628,581,796	-	-
斉藤祐樹②	11 日	2,144,997,527	7,755,750,319	357,588,000
MLB オールスター	11 日	2,661,710,634	7,431,579,036	413,047,800

※ 斉藤祐樹①は『全日本大学野球選手権大会』 ②は『日米大学野球選手権大会』の換算金額

## ○ イチロー断トツトップ!

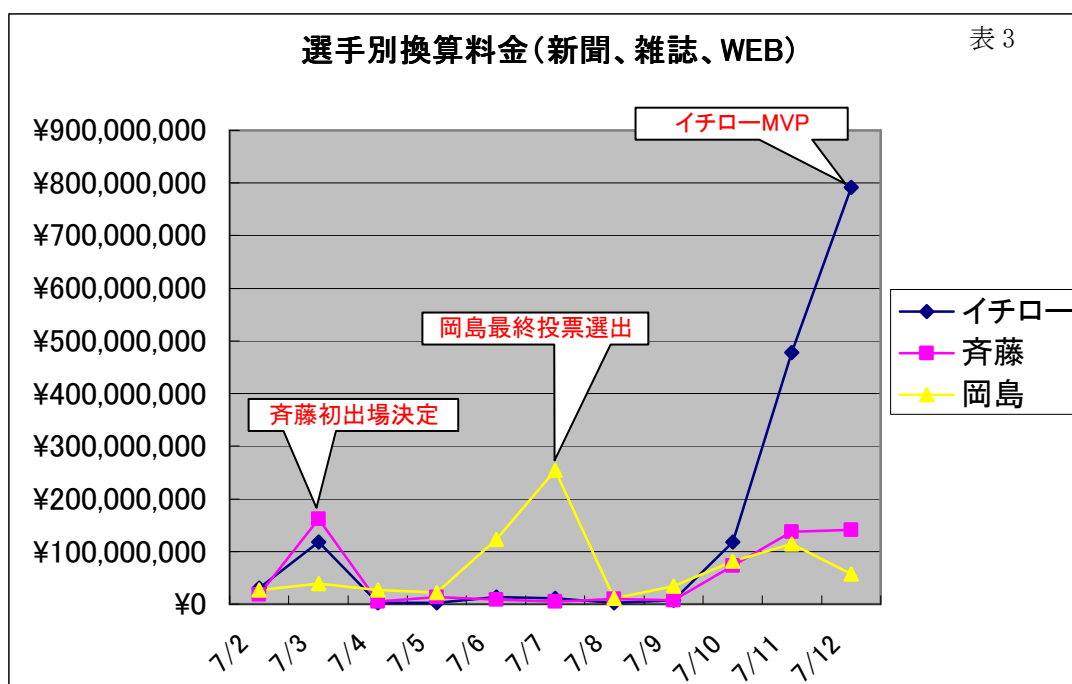
選手別に見てみると（TVは除く）前半は初選出された斉藤投手、中盤で32番目の男に選出された岡島投手の露出が目立ったが、やはり最後はイチロー。史上初のランニングホームランそして日本人初のMVP受賞など圧巻の活躍。新聞・雑誌・WEBで15億円を超える換算金額となった。（表2、表3参照）

選手別換算料金（新聞、雑誌、WEB）

表2

日付	イチロー	斉藤	岡島
7月2日	¥30,774,937	¥18,839,937	¥26,856,737
7月3日	¥118,537,699	¥162,006,356	¥38,763,883
7月4日	¥1,948,747	¥5,449,419	¥26,362,078
7月5日	¥2,356,337	¥13,469,759	¥21,921,743
7月6日	¥13,393,600	¥8,807,882	¥122,337,097
7月7日	¥10,783,868	¥4,647,965	¥253,726,751
7月8日	¥2,769,464	¥9,237,760	¥11,378,195
7月9日	¥7,635,295	¥7,409,317	¥34,149,611
7月10日	¥118,386,062	¥73,295,872	¥81,678,463
7月11日	¥477,769,354	¥137,711,565	¥113,968,169
7月12日	¥791,719,882	¥140,752,629	¥56,604,726
合計	¥1,576,075,245	¥581,628,461	¥787,747,454

※ TV 除く



『概要』

調査対象案件	『第 78 回 MLB オールスター(7/10)』のメディア露出広告効果測定
調査対象期間	7/2～7/12 (新聞・雑誌) ※日本人選手別測定含む 7/2～7/12 (WEB) ※日本人選手別測定含む 7/2～7/12 (TV)
調査対象媒体	全国紙 23 紙 279 版 (東京本紙 5 紙, 地方本紙 18 紙,, 地方版 279 版) スポーツ紙 27 紙 地方紙 107 紙 その他の新聞 429 紙 雑誌 1,135 誌 WEB 国内主要ニュースサイト : 600 サイト TV 東京キー局 6 局(NHK、NTV、TBS、CX、EX、TX)